

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1686回例会

令和3年11月4日 (12:30～13:30)



○ソング

- 国歌（君が代） ●四つのテスト

○ビジター

- 福島南RC 林克重様（地区財団副委員長）

○スマイルBOX

- 福島南RC 林克重様（本日スピーチの時間をいただきありがとうございました。）
- 高島裕会員（財団副委員長、林様卓話ありがとうございました。初めての会長席で緊張しておりました。次年度に向けて頑張ります。）
- 須藤正樹幹事（ロータリー財団副委員長、林様卓話ありがとうございました。勉強になりました。今日は幹事反省です。）
- 金田昇会員（地区財団副委員長、林様本日は卓話ありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願い致します。）
- 横田俊郎会員（誕生日のお祝いをいただきました。ありがとうございました。）
- 矢田部錦四郎会員（2530地区、ロータリー財団委員会副委員長林克重様、卓話ありがとうございました。今後ともご指導宜しくお願いいたします。）
- 永野文雄会員（ゲストの財団、林様卓話ありがとうございました。先週の交流コンペで隠しホールに恵まれ入賞する事ができました。ありがとうございました。）
- 大竹憂子会員（結婚記念日のお祝い、ありがとうございました。）
- 関谷亮一会員（林克重様、大変お忙しいところありがとうございました。中目公英会員の知事表彰誠におめでとうございます。）

▶第1686回例会出席状況 (R3年11月4日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	50名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	64名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	35名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	60
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	58.3%

▶例会日：第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

高島裕会長エレクト



皆様、こんにちは。本来ですと、鈴木会長が沖縄のコザのほうからズームで会長の時間をお話してくれるということでしたが、画像が映るものの音声が一向に通じませんので、私のほうで代わりに会長の時間を務めさせていただきたいと思います。本日はお客様、福島南ロータリークラブから第2530地区のロータリー財団副委員長に出向していただいております林克重様、本日はようこそありがとうございます。林様には、後程卓話をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。皆さん先週の日曜日、投票に行かれたとは思いますが、我がクラブのほうから出ております国会議員、上杉謙太郎さんが再選を果たしたということで、まずおめでとうございますと伝えたいと思います。皆様のご協力があって彼も復活、比例で当選させていただきましたことを本人に代わってお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。また、白河市の状況なんです、今現在11月1日現在ですね、もうコロナの集団接種のほうは大体終了しまして、11月1日時点で全人口の79.62パーセントの方が2回目の接種を終えるという高い水準で接種が終わっておりますので、白河市においても万全なスタートだと思っています。今こちら画像のほうに映っておられますのが、コザロータリークラブ、島袋会長さん。本日はどうぞよろしくお願いします。うちの会長はじめメンバーの方がお世話になっております。どうぞよろしくお願いします。ということで、今日10人近くのメンバーの方が沖縄コザロータリークラブさんの60周年の応援に駆けつけて、今日の夜式典のほうに参加していただけることとなっております。是非、沖縄の楽しいひと時を過ごしていただければと思います。こちらはこちらで頑張っていきたいと思います。それから、朝晩随分冷え込んではきましたが、昼間におきましてはすごい良い天気でありまして、食べ物もすごい美味しい時期になってまいりました。私も太らないように今、ジムに通ったり自転車をこいだりとかいろいろ努力して体の健康を保っております。皆様のどうぞ健康にはご留意されて、益々ご活躍していただけるかとお祈りしたいと思います。なかなかネタ今日ご用意してなかったの、会長

のほうがズーム音声のほう繋がりませんので、このぐらいいしていただきまして、あとは林さんに卓話の時間たっぷり使っていただけるようにしたいと思います。簡単ではありますが、わたくしの会長代理の時間はこれで終わりにしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 白河赤十字奉仕団 委員長 安澤莊一：街頭献血における献血ボランティアの中止について（お知らせ）
- 国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明：国際ロータリー日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：ロータリー財団月間リソースのご案内
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年11月RIレートのお知らせ
- ロータリーの友委員会 委員長 代表理事 鈴木宏：新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件（お知らせ）
- 国際ロータリー第2530地区 地区事務所：地区事務所不在のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦：2024-25年度ガバナー候補者決定通知
- 財法）比国育英会バギオ基金 会長 浅田豊久：「バギオだより」配布のお願い
- 2021-22 D2530県南分区 ガバナー補佐 金田昇：2022-23年度RI第2530地区 地区出向者推薦のお願い
- 白河教育委員会教育長：後援等承認通知書

■委員会報告

○S A A

山口治委員長



皆さん、こんにちは。S A Aからお知らせをしたいと思います。年度初めから構想はあったんですけどもやっと現実となりまして、月に一度例会において食事の特別メニューを出すというふうな会長の方針といいますか考え方でありまして、やっと11月来週から特別メニュースペシャルメニューの日というものを作るようになりました。西ロータリークラブの例会が昼夜昼夜という形ですので、そういうパターンで今月は来週11月11日夜。来月は、12月の最初の第1例会の昼という形で進めていき

たいと思います。ちなみに、来週の特別メニューは秋田県の郷土料理、これが会長が言っていたのはこのコロナ禍でなかなか旅行等には行けないという状況にあるということで、食のテーマを「旅」ということで、来週は秋田県の郷土料理。メニューがあがってますので、内容のほうも話したいと思うんですけども、来週のメニューは比内地鶏玉子丼、稲庭うどん、いぶりがっこ、ジュンサイの酢の物、水菓子ということで、秋田県の郷土料理というふうなメニュー構成になっております。来月は12月の頭の最初の例会の予定なんですけど、これはまだメニューがあがっておりませんのでそれは乞うご期待ということで、これから毎月1回特別メニューがありますよということで、皆さんお楽しみに例会に来ていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○社会奉仕委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会よりお願いとご連絡です。まだ皆さんには配布していないのですが、12月19日にロータリー奉仕デーに合わせて、「誇れる町プロジェクト」という形で、各県南地区の駅の清掃をしたいかと思います。今回は8ロータリー、県南分区すべてのロータリークラブが参加して一大事業となっております。中心となるのは西ロータリーがすべて仕切る形になりますので、是非とも多数のご参加をお願いしたいと思います。また、後程チラシができ次第配布いたしますので、参加の有無の確認させていただきます。是非皆さんその日、12月19日日曜日10時から12時まで時間を是非開けておいていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



皆さん、こんにちは。今月11月の「ロータリーの友」の紹介をさせていただきます。雑誌広報委員会、大竹です。まず横組みのページで4ページ5ページに、「R I 会長メッセージ」が書かれています。11月はロータリー財団月間ということで、その内容を中心に書かれていますのでご覧ください。続きまして、横組みの7ページから15ページの長いページ数なんですけども「インドで出会った笑顔の子どもたち」ということで、ワクチン投与の活動内

容、また11ページにはポリオワクチンについて、あとポリオについてなどが細かく載ってますので、ご覧いただければと思います。14ページは、初心者のためのオンラインポリオ勉強会の案内が載ってますので、是非興味のある方はオンラインでお勉強会に参加してはいかがでしょうかと思います。それと15ページのほうで、番外編としてインドについてということで載っています。「インドってどんなところ」ということで、とても面白い内容になってますのでご覧いただきたいと思います。それから、横組みの18ページから24ページまで、これも長いページ数多いページ数になってますが、2022年6月開催のR I 国際大会、これがヒューストンで開催されるということで、長いページ数でヒューストンのことがいろいろ載っています。とてもすごい素晴らしい内容になってますので、ヒューストンのいろんな部分を見せていただいておりますのでご覧いただきたいと思います。続きまして、縦組みのほうに入りまして4ページから8ページ、「デジタル技術って?光通信が支えるテレワーク」ということで、私もちょっと苦手分野ではあるんですけども、この内容を見てみると光通信コンピューター、AI、インターネットについて細かくわかりやすく載ってますのでご覧いただければと思います。縦組みの19ページなんですけど、「ロータリー・アット・ワーク」のほうで、福島の記事が載ってましたので、第2530地区のいわきのほうの「感謝とエールのコンサート オンラインで配信継続中」ということで、今もオンラインで見れますので是非ご覧になっていただけたらと思います。縦組みの9ページ「卓話の泉」ということで、私の大好きなキムチのことが載ってたので、ちょっとご紹介したいなと思います。「生きて呼吸するキムチ」ということで、キムチが体に良いということも載ってますので、是非ご覧いただければと思います。今回はわりあい一つ一つのものに対してのページ数がとても多かったので、紹介できるのはこのような内容かなと思いながら、見ていただけたらと思います。ヒューストンもとてもいろいろ細かく載ってますので是非ご覧ください。以上で、「ロータリーの友」の紹介を終わらせていただきます。

○親睦委員会

水上泰真人委員

・結婚記念日

遠藤敦会員、安部和夫会員、運天直人会員、
増子国安会員、兼子聡会員、山田顕一郎会員、

須藤正樹会員

・誕生日

小山智会員

吉成真五郎会員

横田俊郎会員

車田裕介会員



■本日のプログラム

ロータリー財団委員会担当例会

ゲスト卓話

○ロータリー財団委員会 矢田部錦四郎委員長



皆さん、こんにちは。今月は財団月間ということで、ロータリー財団の例会をこれから開催していきたいと思います。私はロータリー財団、資金推進・ポリオ委員会というところに初めて出向させていただいています。ポリオはもうすぐ撲滅するわけなんですけど、まだ足りない。そして、やはりイベントごとにもっとポリオ資金を集めてほしいということで、あまりポリオに関しては各クラブ義務の寄付だけはしてるんですけど積極的に集めてないんですね。でも、各地区はそのイベントあるごとにやはり少しでもポリオのための撲滅で協力してくださいということで、結構やはり資金がまだ必要なんだということを前回の例会で確認してきました。今月11月27日に、補助金をいただくためにセミナーがあります。その勉強会がありますので、是非次年度の事業に対していろいろと役に立つと思いますのでよろしくお願いします。先程、エレクトのほうに財団のマニュアルと申請書、それからグローバル補助金の使い方の本があります。それをしっかり読んでいただければ理解できると思います。今日、何かそれに関して質問があれば今日は今日の卓話をいただきます、ロータリー財団副委員長の林克重様です。やはり、委員長は田久さんがやってるんですが、やはり下で支えてる人のほうが一番詳しいんじゃないかということで、今日は特別に呼出して今日私も含めて財団の勉強していきたいと思います。是非、よろしくお願いします。林さん、よろしくお願いします。

○2021-22年度国際ロータリー第2530地区

ロータリー財団委員会 副委員長 林克重様



皆様、こんにちは。地区の財団副委員長をさせていただいております林克重です。所属は、福島南ロータリークラブです。ついこの間、大橋さんが卓話にお招きいただいて誠にありがとうございました。我々も大橋さんからいつも熱いプレッシャーを受けながら、様々な学びをして少しでもロータリーを理解し、基本的には職業奉仕がベースですから、そのベースをスタートさせているようなことが多々あります。今日は、財団のお話ということで財団全体的なお話を含めてちょっと時間をいただければと思います。その前に、ちょっと動画を流させていただきますと思います。

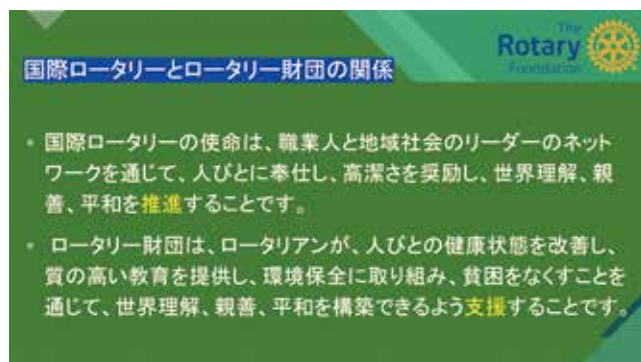
～～動画の上映～～

はい、ありがとうございました。この動画は、全国の財団の研修の時に配られた資料に入っております。それでは、今日の例会スピーチ、お時間いただきまして誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。まず今、感謝のメッセージということで1分半の動画を見ていただきましてありがとうございます。皆さん、今のような動画は見たことありますか、今まで。ある方いらっしゃれば、お手を挙げていただいて。やっぱり皆さん全員なかなか見るチャンスがないですね。これは金田さんによりしくお願いいたします。これから共有していただくように。金田昇さんには、大変財団の担当ということですのでごくお世話になってまして、こんな図々しいような話をさせていただける仲になっておりますので、ご理解をいただきたいと思います。あと矢田部さん、今日は本当にありがとうございました。ご準備いただいて、お時間をいただいて、私を呼んでいただいてありがとうございました。スピーチすると自分も学ばなければいけないので、一番勉強になるのは私かなと思いながらスピーチの準備をさせていただいておりました。どこまでお役立ちできるかは甚だ私はまだまだ学び不足なので、皆様に少しでもお役に立てればと思って今回のテーマをまとめさせていただきました。

主な内容としては、ロータリー財団の使命と活動ですね。あと、補助金について。あと、年次基金と恒久基金認証ということで少しまとめさせていただきます。



た。あとは最後に、地区の委員会の活動方針ということであります。



まず、国際ロータリーとロータリー財団の関係。これは度々皆様にも目を通していただいておりますと思うんですけども、ちょっと読み上げさせていただきます。国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて人々に奉仕し高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。RIは推進するということが一つの大きなテーマになっておりまして、次は財団の話です。ロータリー財団は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。推進と支援という二つの両輪が一つになって、世界を少しでも良い場所にしていこうということを今ロータリーは行っております。国際ロータリーのロータリー財団というような言い方をされるのは、そういった意味からであります。

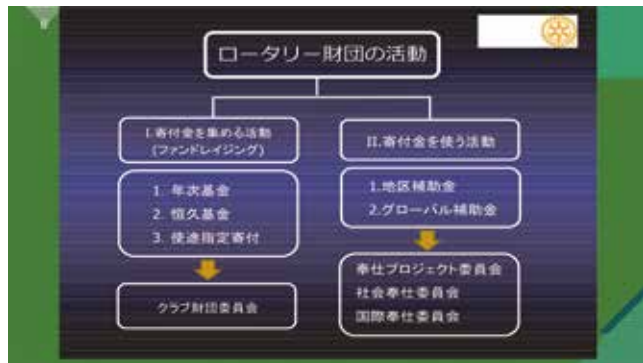


「世界で良いことをしよう」、この標語を知ってらっしゃる方は手を挙げてください。ありがとうございます。これはロータリー財団の標語であります。ロータリアンは基金を作り世界的な規模で、慈善、教育、その他社会奉仕の分野で何か良いことをしようではないかと、アーチ・C・クランプさんが1971年、第6代の国際ロータリーの会長の時に提唱した内容であります。この1917年に提唱して、一緒にロータリーの中でやってきたのが1928年には別組織になるというような歴史を辿っております。基本的には、ロータリーの皆さんや、またはロータリーにご理解をいただいている我々の活動に協力をしていこうと、協賛をしていこうという方達から自由意思で寄付をいただいて、それを補助金として交付していくというような事を行う非営利団体であります。



ロータリーには今、7つの大きな重点目標ということがあります。重点分野ということがあります。これをご覧いただくとわかるんですが、このマークをご覧になったことはありますでしょうか。友にも結構このマーク載ってたりするので、皆さんよく目にしたいと思います。どうですか。今、友の委員の女性の方、すいません。これちょっと読めます、読めないか。では、私が代理で読みます。一つは、平和の構築ですね。紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、地域社会の経済発展、環境ということで、いかがですか。日本でこの重点分野に当てはまる行動って活動って何か思いつきますか。多分、日本国内だとなかなか難しいんじゃないかってよく言われています。でも、よく考えてみると今回の皆さんの金田さんからさっきチラシをいただいたんですけども、会長代理のご説明にもあったような分区の活動ですね。地域を子供たちと一緒にきれいにしよう。そんな活動はいかがでしょうか、どこに当てはまるでしょうか。環境ということだったり、あとはどうでしょうね。基本教育と、識字率ということはないで

しょうけれども、やっぱり社会で大人が一生懸命社会を良くしていこうということを背中ですべての子供たちと一緒にやれるような場所を作っているというようなことで、やはりこの7つの重点分野ってとても社会を良くするためにはいいテーマではないのかなと思っております。



続きまして、今度ロータリー財団の活動について話をさせていただきます。このブルーのファイルは、ロータリー財団セミナーをやる時に使っているファイルの一部です。ロータリー財団の活動というのは、二つ大きくあります。一つは、基金を集める活動。もう一つは、寄付を使う活動。二つございます。寄付を集めるというのは、皆さんよくご存じの年次基金、恒久基金、あと使途指定基金。使途指定基金というのは、このお金を例えばポリオに使っていただきたいというような形で、使途を指定するとそこに寄付が行くようになります。それは管理をするのは、クラブの中ではクラブの財団委員会の皆さんがこの管理をしていただくということになってます。特に今年の田久委員長は、使途指定寄付をもう少しポリオを明確に謳っていただきたいと。例えば、皆さんの場合どうしているかはわかりませんが、クラブで集めたりした財団の資金が実際それがどこの現場でどのように使われているのかというところが、皆様にもっとわかりやすくなっておかなくと思っております。是非今年であればポリオに幾ら幾ら出しましたというようなことでまとめていただくというようなことをちょっとお願いをしております。寄付を使う活動ですね。これは地区補助金とグローバル補助金という二つの大きな補助金があります。地区補助金は、地区に裁量のある補助金です。グローバル補助金は、直接国際ロータリー財団に決済権がありまして、財団のほうに申し込んでやっていくということでもあります。特にグローバル補助金は今、地区の我々財団委員会もわからないうちに、場合によってはそのまんま補助金の申請が埋まったりするような時代にも

なっまってまいりました。あと、この補助金を使う活動に関しては、各クラブの奉仕プロジェクト委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会ということで、3つの関係委員会あるクラブもあればないクラブもあるんでしょうけれども、その財団と社会奉仕と国際奉仕が共に協力し合って、永続可能で素晴らしい奉仕活動にご協力をさせていただければと考えております。



次に行きます。今のシェアシステムというお金の使い方が決まっております。寄付元金が3年前の年次基金、あと恒久基金の利息ですね。運営益を一つの資金になりまして、3年前の年次基金は地区で例えば一千万円集めましたということであれば、3年前の一千万円を集めたものの半分が地区に活動資金としてDDFとして降ります。予算としてですね。国際財団の活動資金は、その半分がWFとして降りてきます。今年からなんです、2.5パーセントづつ管理資金をいただくということで、5パーセントはロータリー財団の運営費ということになっております。地区の補助金になると、このDDFの半分ですね。DDFの半分が地区の補助金として使われるようになります。残りの半分はグローバル補助金、あと寄贈のお金ということになってきます。国際財団の活動資金WFは、グローバル補助金とあと承認されたプログラムということで、DDFとWFは真ん中でマッチングされて一つの大きな活動資金になっていくということでもあります。このシェアシステムのおかげで、今まで結構お金を使わないで終わってたことが多かったんですけども、全体的に使いやすくなったということで。例えば、今年のWFのほうのグローバル補助金なんです、年度初めにもう使う方向性は決まっていますみたいな報告がRIの事務局から財団の事務局からやってきたりもしていますので、皆さんもしグローバル補助金をご活用いただいて、また地区補助金も含めてご活用いただく場合は、早めに計画を出していただいて早めに申請書出していただくほうが取りやすいと思います。枯渇す

るという言い方するんですが、補助金が枯渇する方向に今行ってますという説明を我々は聞いてます。ただ、毎年毎年の繰り返しなので一回枯渇しても、翌年また金額が復活してくるんですが、そんなような繰り返しになっています。

個人に対する感謝の気持ち

個人の認証		① 財団の友	② ポール・ハリス・フェロー	③ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	④ スター・ポール・ハリス・フェロー	⑤ 国際・社会奉仕	⑥ 国際・社会奉仕	⑦ 国際・社会奉仕	⑧ 国際・社会奉仕
寄付分類	年次基金	●		●					×
	ロータリー公益性基金	×		×					●
	恒久基金	×		×					×
	ポリオプラス	×		●		●			×
	その他	×		×					×
補助金への拠出		×		●					×
指定寄付		×		×					×

次に、例えば皆様からいろんなお金を頂戴します。ご寄付を頂戴します。これ、認証の話です。ポール・ハリス・フェローとか、マルチプル・ポール・ハリス・フェローというのは、皆さんクラブの中で年に一回表彰されたりしてるかと思います。あと、財団の友はクラブでそれぞれお入りになっていらっしゃる方いらっしゃいますか。申請すると財団の友には入れるので。ただ、財団の友になるには確か100ドル以上のご寄付をしないと財団の友に入れますよということ。友に入るから何かということではないのですが、私現物まだ見たことないのですがシールをいただけるようで、そのシールを自分のネームに貼るというような活動で財団の活動を自分も支えていますということを進めています。あとポール・ハリス・フェローは、年次基金、ポリオプラス、あと承認された補助金へ寄付をした方が1千ドルに達した場合、個人に贈られる承認ですよというようなことで、一つ一つの承認が様々な表彰というか、皆さんの気持ちに対する御礼ということで、財団から繋がっていくということにそんなストーリーになっております。最近、大きな資金をご寄付いただくというような事もあります。それによって、冠名基金ということでご自分のお名前を付けたりして、またはお亡くなりになった方のお名前を付けたりして、自分のご寄付した足跡を残していくということも仕組みとしてあります。それは恒久基金のほうに寄付されるんですが、恒久基金はその恒久基金で寄付されたお金を使うのではなくて、先程の投資に使って運営金がずっと財団で使うというようなことに繰り返してるような仕組みになっております。このようなことで、財団は様々な活動にお役立ちになっていただきたいと

いうことであります。



この表は、財団を活用してクラブの活性化にも役立ちますよという表であります。RLIにご参加いただいた方いらっしゃいますか。ロータリーリーダーシップ研究会に。最近ずっとズームでやってらして、なかなかリアルでできないというのが、もう少しするとどうもリアルに復活するらしいです。日本はそのことにもなりそうです。そのRLIの財団スリーというセッションで、この表が最後に出てきます。いかがでしょうか。国際社会奉仕、特にグローバル奉仕をやる時にこんなことがクラブの中にあるのではないですかということで、それを実現するという事はクラブにとってどんな役立ちができるのかというようなことをまとめた表になります。例えば、左側の戦略計画と分析ということになります。白河西ロータリークラブさんには戦略計画はございますか。まだお作りになってる途中でしょうか。先程のグローバル補助金を使ったり、または自分のクラブが将来どんなことに役立つ社会奉仕するのかとか国際奉仕するのかは、やっぱり長期的な計画が必要であります。エレクトだけで出来るわけではなくて、現会長で出来るわけではなくて、やっぱり3年4年という一つの長いスパンの中で自分のクラブをどのような個性あるクラブにしていくのか、魅力あるクラブにしていくのかと。そんなことを皆さんの会員の皆さんからまず会員の声を聞いて、それからどういうふうな3年後5年後のクラブをするのかと。例えば、場合によっては会費を納めていこうということもあるかもしれません。あと、衛星クラブを作ろうかということもあるかもしれません。そんな中で、財団を活用してどんな活動をするのかというようなことも一つの戦略として計画をしていただきたいと思います。戦略計画だと戦争の話なので、ちなみに福島南ロータリークラブは未来計画ということで、未来のための計画をみんなで考えましょうということを今進めて今年策定が終わって、策定の内容の見直し次の見直しを今進めているところであります。こんなベースを作りな

がら、そうするといかがですか。クラブ内のコミュニケーションがすごく良くなりますよ、何か目標を持つと。そんなことで財団の活動というのは、またひとつ皆さんのお役に立つのかなと。奉仕プロジェクトの内容だったり、財団と自分のクラブの関係性だったり。ちょうど右側の反対側に倫理と職業奉仕ということで、一番我々の大切な職業奉仕がここに載ってます。当然、何かこうやる時には国際的にやる場合は、その相手方の国の事情というの理解してやらなければいけないでしょうけれども、国内であればご自分の職業経験がその社会奉仕にとっても役立つという場面が沢山ありますので、是非ご活用できるのではないかと思います。そうすると、様々な活動しているクラブということで、外部から魅力、または我々がどなたか新会員を誘う時に、うちのクラブこんなことをやってるから是非一緒にやらないかとか。または、一度来てみないか、参加してみないかというふうなお声がけをして会員を勧誘するということにも繋がるのではないかと考えております。こういう一つの大きな流れの中でお考えいただければ嬉しいと思っています。



最後に、地区の方針が一番最後なんです、その前にロータリークラブのコーポレートカードがあるんですが、ロータリークラブのこのカードお持ちになっただけの方いらっしゃいますか、今。是非、お作りいただければと思います。個人的に作れますし、あとクラブで作っておくとこれがクラブの決済のお金がポリオ撲滅の活動にも繋がります。これ参考までです。



やっと志賀ガバナーが出てまいりまして、今年は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というのがR Iのテーマであります。



我々財団の目標は、ロータリー財団への理解と地区の財団活動資金DDFの活用をしていただきたいと思います。そのためには、年次基金一人150ドル、ポリオ根絶一人30ドル、ベネファクター各クラブ1名を皆様にご協力をいただきたいというのが私たちの目標であります。その目標で皆様にご理解いただいたところで、本日のスピーチは終わりにしたいと思います。皆様、お時間いただきまして誠にありがとうございました。何か質問あればいつでもお声掛けしてください。よろしくお願いします。今日はありがとうございました。

○高島裕会長エレクト

今日はありがとうございました。なかなか時間も短くて、詳しい説明をもっとしたかったんですが、参考になるようなお話もありました。役割、使命、そして財団に関しましてちょっと詳しく、私は資料手元にありますので後で拝見したいと思います。今後共またご指導のほうよろしくお願いします。今日はありがとうございました。



○須藤正樹幹事

今先程、会長が沖縄から首里城を拝見して映っております。今夜、義援金を西クラブから10万円、コザクラブ60周年記念式典に寄与するために、皆さんに首里城の現状を把握してもらうために首里城から参加しておりますので、首里城のところを大きく映してもらえれば。今、首里城の現状を映しております。